

令和7年度 茨城町立葵小学校 グランドデザイン

本県の実践目標

- ひとりひとりの能力を開発し、豊かな人間性をつちかう
- じょうぶな身体をつくり、たくましい心を養う
- 郷土を愛し協力し合う心を育てる

学校教育目標

郷土を愛し 自ら学び
心豊かにたくましく生きる
児童の育成

本町の教育

未来志向のキラリと光る教育のまち IbarakiTown

「主体的・対話的で深い学び」の実現

～「受動的な学び」から「主体的な学び」の具現化～

外国語教育・ICT教育・学び合い・幼小中連携・SDGs教育

人とつながる学び 心がつながる学び 未来につながる学び

< 目指す学校像 >

- 共に学ぶ楽しさに満ちた学校
- 豊かな心と体を育む学校
- 保護者や地域から信頼される学校

< 目指す児童像 >

「わくわく」目標や夢の実現に向けて
「にこにこ」明るい笑顔で仲間と共に
「いきいき」進んで取り組む 葵の子

< 目指す教職員像 >

- 教育への情熱と使命感のある教師
- 創造性と指導力を高める教師
- 児童理解と危機管理に努める教師

校訓

自立 友愛 協働

学校経営の基本理念

一人一人を大切に
児童が主体となる学校づくり



< 児童の願い >

- 勉強が分かる、できるようになりたい
- 友達と仲良く楽しく生活したい
- みんなの役に立ちたい

< 保護者・地域の願い >

- 一人一人に寄り添う子供中心の学校
- 社会でたくましく生きる子供
- 想像 挑戦 体験 精神力
- 地域と共に縦と横につながる学校

< 主な学校課題 >

- 主体的・対話的で深い学びの実現
- 自己肯定感、自己有用感の高揚
- 対話する力の育成
- 自発性・社会性の涵養
- 地域連携
- 郷土を愛し大切にする心

本年度の重点目標・組織目標・グループ目標

重点目標 ○互いを認め合う居心地のよい集団をつくり、自ら考え学びを深める児童を育成する

組織目標 ○児童を認め、児童が主役となる時・場を意図的につくる

グループ目標

- 確かな学力プロジェクト ○協働的な学びを充実し、基礎・基本の定着を図る
- 豊かな心プロジェクト ○ものごとに挑戦する勇気を認め、自己有用感を育成する
- 健やかな体プロジェクト ○健康で安全な生活の充実を図り、心と体を元気にする

育みたい力	【確かな学力】	【豊かな心】	【健やかな体】
実際の社会や生活で生きて働く知識及び技能	○聴き合う力の育成 (相手を見る、傾く、耳を傾ける) ○学び方の理解の定着 (考え、聴く、協働する、振り返る) ○基礎・基本の定着 (習熟度別学習、学習ログの活用)	○よさを認める心を養う (ローテーション道徳、エンカウンター実施) ○多様性の理解の促進 (読書活動、外国語教育、人権教育)	○基本的な生活習慣の育成(歯みがき、熱中症、感染症対策等) ○自分に合う運動の理解促進 (朝ラン、サーキットトレーニング等)
未知の状況にも対応できる思考力、判断力、表現力等	○協働的な学びの充実 (ペア・グループ、ICT活用) ○表現力の育成 (対話、プレゼンテーション)	○思いやりと感謝の心の育成 (きょうだい学年での活動) ○挑戦する勇気を養う (特別活動の充実、温かな学級)	○助けを求める力の育成 (アンケート、面談、オンライン相談、SCとの連携等) ○運動遊びの習慣化 (体育授業、業間運動、外遊び等)
学んだことを人生や社会に生かそうとする学びに向かう力、人間性等	○学びを次に生かす力の育成 (まとめ・ふりかえりと課題発見) ○主体的に学ぶ態度の育成 (ICT活用、個別最適な学習)	○ふるさとを大切にすることを養う (地域と連携したカリキュラム) ○社会に貢献する態度の育成 (SDGs教育、環境教育) ○感動力の育成 (あいさつ、コミュニケーション)	○健康・安全に関する実践力育成 (安全教育、健康教育、情報教育等) ○運動遊びに親しむ態度の育成 (体育科の授業、業間運動、外遊び等)
成果指標	○ICT活用や学び合いで、学習がより深まると答える児童 90%以上	○みんなの役に立ちたいと思うと答える児童90%以上	○運動遊びが好き 90%以上 ○いじめの早期解決 100%

【地域コミュニティと連携した開かれた学校】

- 学校運営協議会を核とした学校運営(学習・環境・安全面でのマネジメント年3回以上、日常的な情報共有)
- 地域力を活用した特色ある教育活動(地域人材や施設等を活用した学習…各学年学期1回以上)
- 教育活動への理解促進(学校だより(月2回)と学校評価のHP掲載による情報発信、地域からの情報収集)
- 円滑な接続に向けた保幼小中連携の工夫(アプローチ・スタートカリキュラムの共有、明光スタイル(ICTと学び合い)の共有)

【信頼される学校づくり】

- 子ども理解を促進するための職員研修(人権教育、カウンセリング)
- 不祥事の未然防止に向けた取組(コンプライアンス研修、安全点検)
- ICT活用と学び合いの充実に向けた授業改善(パワーアッププラン)

【働き方改革】

- 子どもと向き合う時間と働きがいの両立(月超勤45h)
(校務におけるICT活用、自己研鑽の奨励)